

登録有形文化財(建造物)指定記念企画展

ゆう き そ めい
結城素明

屏風絵の世界

2024 5月18日(土)
～6月23日(日)

※毎週月曜日は休館

開館時間 10時～16時

入館料 一般 500円、高校・大学生 300円
(小中学生は無料)

関連イベント

トークセッション

5月26日(日) — 素明の人と芸術を語る —

午後2時より午後4時

「素明芸術の表現手法」 荒井 経 東京芸術大学大学院教授
「教育者としての素明」 越智波留香 おぶせミュージアム学芸員
「素明と海舟、子規、漱石」 佐川庄司 藤田記念博物館学芸員



登録有形文化財指定記念講演会

6月16日(日) 演題
午後2時より 「藤屋建造物群の歴史的価値」

講師：中村琢巳 東北工業大学准教授



【会場】

藤屋蔵ギャラリー2階(博物館隣)

※参加希望者は上記QRで事前申し込みをお願いいたします。
定員になり次第締切。参加費は無料ですが、入館料は必要となります。



結城素明 / 左「楽園」(部分)、中央「紅彩図屏風」(部分)、右「四季草花図屏風」(部分)



登録有形文化財(建造物)の藤田記念博物館東側外観



土蔵内部の展示風景

結城素明

屏風絵の世界

登録有形文化財(建造物)指定記念企画展

藤田記念博物館を含む藤屋建造物群の国登録有形文化財指定を記念し、博物館コレクションを代表する藤田家ゆかりの日本画家結城素明(1875～1957)の屏風絵作品を一堂に展覧する企画展を開催します。

結城素明は、明治から昭和初期まで東京美術学校教授を40年間にわたり務め、東山魁夷をはじめとする多くの画家を育てています。また、明治・大正期には「无声会」や、「金鈴社」などの美術団体を結成し、近代日本画の創造に努め、その活動は美術界から注目されました。そして、文展、帝展を舞台に活躍し、帝展審査員も務めています。

今回の展覧会では、大正から昭和初期の屏風絵作品「草花図屏風」(六曲一双)、「楽園」(六曲一隻)、「芙蓉紫陽花図」(二曲一双)、「紅彩図」(二曲一隻)、「木蓮椿図」(六曲一双)などの花鳥屏風絵作品約10点を一堂に展覧するものです。江戸期や明治期に建築された土蔵や蔵座敷の中で鑑賞する世界は当時にタイムスリップしたように感じられるのではないでしょうか。ぜひ、この機会に建築物とともにご鑑賞下さい。



草花図屏風(六曲一双) [大正期] 左隻



紅彩図屏風(二曲一隻)



楽園(六曲一隻) [大正期]